

アミークス英語教育シンポジウム

「大学入試改革はどうなるのか」

～入試改革で英語教育はどう変わる～

日時：2017年2月11日(土) 13:30～(受付開始：13:00～)

会場：沖縄科学技術大学院大学(OIST)講堂

入場無料 事前予約制

AMICUS
Okinawa AMICUS International

開催趣旨

マスコミ等で報道されているように、2020年に施行が予定されている新学習指導要領では、従来の文法・訳読中心の英語教育から、「話せる英語」に向けた英語教育の大改革方針が打ち出されています。これを受けて、大学入試改革は入試で英語の4技能を図ることになり、英語のセンター試験や一般入試は大きく変わることとなります。当然のようにこの影響は高校生の大学入試だけでなく、中学生の全国学力調査では2019年から英語の4技能テストが導入されることが決まっています。高校入試も英語の4技能テストに変化することが各地で検討されており、小学校の英語が教科になることから、小学生の中学入試も英語が受験科目になることが予想されます。

こうした英語教育の大改革を3年後に控えて、私たちの子どもたちのために、これからの英語教育をどのようにしていくのか、この春から何をやらなくてはならないのか、それを考えるための情報を整理する、それが本シンポジウムを開催する目的です。

今回の英語教育の改革についてはたくさんの情報が飛び交っています。しかし、その中には過剰な脚色が混じった情報や、いい加減な伝聞情報が多くあり、いったい何が正確な情報なのかがわからなくなっています。そうした混乱を整理するため、本シンポジウムでは日本の英語教育の第一人者で、現在の英語教育改革議論をリードしている吉田研作氏、文部科学省で今回の大学入試改革を審議官として担当し、現在、大学入試センターの理事として改革の指揮を執っている伯井美徳氏、沖縄の英語教育のリーダーで、中央教育審議会委員の経験もあり、現在は新学習指導要領の検討委員を務めている大城賢氏に直接お話をお伺いすることとしました。

英語教育の未来の在り方を真剣に考える皆さんの参加をお待ちしています。

第一部：基調講演・提言

- ① 「大学入試改革の全体像」 大学入試センター理事・副所長 伯井美徳氏
- ② 「変わる英語教育と沖縄の英語教育への提言」 上智大学言語教育センター センター長 吉田研作氏

第二部：座談会 座談メンバー：

- ・大学入試センター理事・副所長 伯井美徳氏
 - ・上智大学言語教育センター長 吉田研作氏
 - ・琉球大学教育学部教授 大城賢氏
 - ・沖縄アミークスインターナショナル 校長 和宇慶江理子
- コーディネーター：NPO 教育支援協会代表理事 吉田博彦氏

参加申込方法

ネット申込となります。締切：2017年1月31日(火)

<https://goo.gl/forms/sh4ZirZ0s1qeSP1I2>

※尚、シンポジウム終了後に座談メンバーにもご参加いただく懇親会を予定しております。参加ご希望の方は併せてお申し込みください。(会費 2,000 円)

主催：学校法人アミークス国際学園

後援：沖縄県、沖縄県教育委員会、NPO 教育支援協会、英語検定協会

【問い合わせ先】アミークス国際学園 事務局 富田・清宮

098-953-2070 sympo2017@amicus.ed.jp